



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2026/7/18発行

第118号

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

第1回 中央
ワークショップ開催

仲間と挑戦し、新しい自分へ！

第1回 中央ワークショップ開催

日本ベンジャミン人間性英才学校

では、2026年6月19日から21日まで、三重県志摩市のECO地球市民研修センターにて、第1回中央ワークショップ「モーニングスター！新しい自分を切り開き 仲間と一緒にクォンタムジャンプ」を開催しました。普段はオンラインで学んでいる生徒たちがオフラインで集まり、仲間とともにさまざまなプログラムに挑戦し、自分自身と向き合い、新たな可能性を発見する3日間となりました。



初めての対面、仲間との3日間

1日目、普段の授業ではオンラインで交流していた11期生が、初めて対面での交流がありました。最初は少し緊張した様子も見られましたが、レクリエーションを通して交流するうちに、会場はすぐに笑顔と活気に包まれました。ともに活動する中で生徒たちの距離は一気に縮まり、仲間との心をつなげて、3日間のワークショップがスタートしました。

力を合わせミッションに挑戦！

2日目は、チームでさまざまな課題をクリアする「ミッションゲーム」に挑戦しました。

体力が必要なミッション、頭脳を使って解決するミッション、そして仲間同士が信頼し合わなければ達成できないミッションなど、多彩な課題が生徒たちを待ち受けていました。一人では難しいことも、仲間と知恵を出し合い、声を掛け合い、力を合わせることで乗り越えていきます。生徒たちはミッションへの挑戦を通して、仲間を信じることや協力することの大切さを体験しました。

午後には海辺を散策し、裸足で大地とつながるアースングを体験。豊かな自然の中で地球を感じながら、自分自身の心と向き合う時間を過ごしました。さらに、自分の限界を越えるための「自己宣言」にも挑戦しました。自分の内面を見つめ、これまでの限界を越えて宣言することで、生徒たちは新しい自分との出会いや、自分自身の可能性を発見しました。



感じたことを絵と言葉で表現

ワークショップでは、校長先生から脳教育の原理である「3ボディ・7チャクラ」について学び、実際に体を動かしながら体験するトレーニングも行いました。

今回のワークショップで大切にしたいことのひとつが、「自分が感じたことを表現すること」です。生徒たちは、それぞれのプログラムを通して感じたことや気づいたことを絵に描き、仲間の前で発表しました。自分の内面に意識を向け、「私は何を感じたのか」「この体験から何を発見したのか」を見つめ、それを絵や言葉で表現します。こうした時間を繰り返す体験することで、生徒たちは自分自身に集中する力と、自分の考えや思いを人に伝える力を育みました。

感謝を行動に

そして先輩から未来を学ぶ

最終日には、3日間お世話になった施設への感謝を込めて、弘益活動に取り組みました。生徒たちは自ら体を動かし、仲間とともに汗を流しながら、周囲や社会のために行動することの大切さを体験しました。

最後の時間には、現在インターン活動に取り組んでいる卒業生から、ベンジャミン学校卒業後の自身の成長や現在の活動について話を聞きました。自分たちより一歩先を歩む先輩の経験に触れることは、生徒たちにとって、自分自身の未来や可能性について考える貴重な機会となりました。

さらに、お互いの良いところを見つけ、褒め合うワークにも取り組みました。3日間をともに過ごした仲間だからこそ発見できた一人ひとりの魅力や成長を伝え合い、生徒たちの絆はさらに深まりました。



3日間の挑戦をこれからの成長へ

今回のワークショップでは、生徒一人ひとりがこれから自分が成長するために取り組むプロジェクトを決めました。大切なのは、ワークショップで得た気づきや決意を、その場限りで終わらず、毎日の行動につなげていくことです。生徒たちは、それぞれが決めたプロジェクトに毎日取り組み、2週間後のオンライン授業まで、仲間と報告しながら挑戦を続けることを約束しました。中央ワークショップで踏み出した「クォンタムジャンプ」への一歩は、日常生活の中でも続いていきます。



Instagramで
最新情報公開中



詳しくは
ベンジャミン学校

検索